

宮崎労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

－株式会社エフオーテクニカ－

平成 29 年 11 月 7 日、宮崎労働局 後藤総務部長及び桑原雇用環境・均等室長が、株式会社エフオーテクニカの代表取締役社長 増田博行氏から「働き方改革」等への取組状況をお聴きし、更なる取組の推進をお願いしました。

訪問企業名	株式会社エフオーテクニカ
所在地	宮崎市
従業員数	929人
事業内容	派遣業

1 超過勤務の縮減対策

当社が派遣社員を派遣している半導体製造工場では、機械を止めると機械が損失するため、24 時間 365 日操業している。残業が多い派遣先企業の場合は、月に 1 回安全衛生委員会において、社員の体調を踏まえて管理し、残業の抑制を促す。残業が 2 か月以上続く際には、社員は多能工化しているため、多忙部署に人を異動するなどして対応する。

2 年次有給休暇の取得促進

年次有給休暇は、1 日年休の他に半休制度があり、年休を取得しやすい環境である。

3 非正規社員から正社員への転換

毎年 20 人前後の非正規労働者を正社員へ登用している。

来年 4 月には無期転換となる有期契約労働者が 200 人いる。有期契約労働者には制度を説明し、希望者は無期転換となる。

4 女性の活躍促進

当社の役職者は 24 時間、365 日操業に従事している者であり、女性でシフト勤務にいる者はいない。このため、女性の役職者はいないが、現場に女性リーダーはいる。日勤勤務者の業務は工程の検査業務となる。

女性は有配偶者が多く、育児休業をよく利用している。男性は育児休業を取得せず、年休を 1 日取得したり、半休取得したりしているようだ。

介護休業取得者は男女ともいる。11月から男性1人が取得予定であり、男女とも仕事と家庭を両立しやすい職場環境である。



左：代表取締役社長 増田博行 氏、右：後藤尚・宮崎労働局総務部長